

新型コロナウイルス感染症対策チームの対応状況

令和 2 年（2020 年）3 月 3 日

新型コロナウイルス感染症については、本道は、全国で最も患者が多く、本日現在、77 名の患者が全道の広い地域で確認されている。感染が拡大しつつある中、1 日も早くこの問題を終息させ、道民の皆様への命と健康を守り、暮らしへの影響を最小にするためには、検査体制の強化や医療提供、治療・相談体制の充実を図ることが喫緊の課題となっている。

こうした課題に対応するため、先月 24 日に北海道感染症危機管理対策本部に、新型コロナウイルス感染症対策チームを設置した。

医療体制班

入院患者数が更に増加することも想定し、限られた医療資源を最大限効果的に活用する体制を整備する。

診療体制の確保

- ・ 感染症病床の利用に加え、一般病床等が利用できるよう、国立病院、公立病院、赤十字病院、厚生病院等に要請し、現在、約 200 床まで拡大

検査体制の整備

- ・ 道立衛生研究所、札幌市衛生研究所以外の実施機関拡大に向け調整
- ・ 国立感染症研究所の支援による体制拡大を検討中

防護用品の調達

- ・ 指定医療機関からの提供要請に対して、道立保健所分の備蓄を放出

保健活動班

道立保健所における保健活動の技術的助言、マンパワーの確保に向けた派遣調整等を行う。

感染状況の把握、感染拡大防止、住民の不安解消等

- 行政検査の対象者や濃厚接触者の対象範囲等に関する判断に対する助言（医師チーム）
- 患者が安心して療養できるよう、心のケアを含めた保健指導や、一般住民の感染不安に適切に対応できるよう保健指導用パンフレットや一般住民向け普及啓発資料を作成するなど、保健所の保健活動に対する技術的サポート（保健師チーム）

保健活動の質の向上

- 厚生労働省から感染症及び保健活動に精通した保健師（大学教授）2名の派遣を受け、保健活動のスーパーバイズを受ける予定（3月3日～10日予定）

相談対応班

道民の皆様不安や疑問を解消するため、情報提供や相談対応を行う体制を整備するとともに、帰国者・接触者相談センターにおいて、感染疑い例を「帰国者・接触者外来」に受診させるよう調整を行う。

相談体制の充実

（本庁）

- 3月2日から24時間対応とした。
- 北海道看護協会、元道職員保健師の協力を得て、臨時職員（保健師・看護師）を10名確保

（保健所）

- 相談件数の増加に対応するため、振興局内他課保健師の応援派遣、元道職員保健師等の協力を得て、臨時職員を確保

広報班

道民に対する正確で分かりやすい情報提供や呼びかけを行い、冷静な対応を促す。

各種情報の収集及びチーム内の共有

新聞、テレビ報道内容、国（厚生労働省等）、国会、WHO の情報収集、各都府県の状況及び対応の情報収集

情報発信

ホームページの更新、Twitter・Facebook・知事動画による発信

緊急事態宣言の周知

包括連携協定先への協力依頼

（発信内容案）

- ・ 換気が悪く、人が大勢集まる場所には行かないこと
- ・ 部屋の空気は、定期的に入れ換え
- ・ 風邪ぎみの方は自宅でお休みいただき、定期的に体温測定